

(様式4)

三木城下町アップグレードプロジェクト

1 事業の概要

[城下町商店街の実情] 大規模店舗の進出と少子高齢化をきっかけに城下町の小売店のほとんどが2010年頃には閉店してしまい、今回助成対象エリアのナメラ商店街に残った店舗は最盛期の約1割となってしまった。

[レトロな雰囲気を活用し商店街と地域の活性へ] 三木城下町のナメラ商店街が持っている「レトロ」や「町家」という資源を活かし、シャッター商店街に新しい活力や事業を呼び込む。

三木城下町の商店街が持つ「レトロな商店街」という資源を活かし、三木市に関心を持ってもらう機会として「レトロヂ」と「ナメラン」を開催する。この事業は数年前から実施しているものの、内容のマンネリ化と財源縮小という課題があり、この課題を突破するためにも、さまざまな世代の人達(特に青年の世代が不足している)の視点やアイデアが必要と考えている。また、本事業を通じて発掘した人材による、当該エリアへの新規出店計画の支援も行う。



[レトロヂの開催] 「レトロヂ」とは、“レトロテイストあふれる路地裏”を意味する造語で、毎年5月にナメラ商店街周辺で開催される地域活性化イベント。

[ナメランの開催] ナメラ商店街の平坦なコースから三木合戦の舞台にもなった三木城跡(絶景ポイント)を周回するリレーマラソン。

[空き店舗活用・誘致] 今回事業で発掘した人材による空き店舗を活用した新規事業(若者の活動拠点の確保を含む)の支援を行う。空き店舗の改修工事を、まちづくり協議会が有するマンパワーと、新規事業者、そして今回募集する青年で実施する。

2 事業予定

毎月1回	イベントの定例会/まちづくり協議会の定例会/空き家活用		
5月19日	レトロヂの開催	7月	交流会・中間発表
10月	地元の祭りに参加	11月	ナメランの開催
12月	交流会	3月	活動報告会

3 ふるさとづくり青年隊に望むこと

かつての賑わいを取り戻すのは決して簡単な話ではない。だからこそ若い人のエネルギーが必要だと感じている。活性化に向けては地域の方々とのコミュニケーションも重要になり、その都度発生する問題を解決する能力が必要になるため、そういった問題に真摯に取り組むことが自身の成長にもつながると考えている。この事業を通じて、地元の青年と他地域の青年が歴史ある三木市において、今や全国の至る所で抱える問題(高齢化・産業の低迷)について一緒に考えることは、自身の地域の課題解決にも必ず寄与できると信じている。

また、協議会への加入やナメラ商店街への出店、将来的には三木市への移住など、これからも三木の魅力を持続的に体現してもらおう。いきなり移住までは行かなくとも、通いながらも三木でできる範囲のことを楽しんでもらい、実績を積みにつれてやりたいことを徐々に増やしてもらえれば、結果として青年たちができることを多く発揮できるのではないかと考えている。三木に思い入れのある若者による発信や、地元高齢者などへの支援・交流活動にもつながることを、長いスパンで期待している。

4 連絡先

- (1) 団体名：三木城下町まちづくり協議会
- (2) 所在地：兵庫県三木市本町2-9-36
- (3) HP、SNS等：<https://www.mikimachikyo.org/> Facebookでも発信しています